



国際女性デー（8日）に合わせ、47都道府県の男女平等の度合いを政治、行政、教育、経済の4分野で分析した2024年の「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数」が公表された。愛媛は政治30位（昨年23位）、行政40位（同43位）、教育20位（同25位）。指標を一部変更した経済は29位だった。数値は好転傾向だが、ジェンダー平等に向けて積極的取り組みを進める上位の地域には及ばない。指標から浮き彫りになる課題をもとに、ギャップ解消への道筋を探った。

（梅林恭子）



愛媛の男女格差指数から

① 市区町村の管理職比率 最下位

昇進意欲醸成へ工夫を 従来イメージ刷新重要

2024年 都道府県版ジェンダーギャップ指数 愛媛の主な項目・順位

分野 (今年の順位)	項目	順位		
		2022年	23年	24年
行政 (40位)	都道府県の管理職の男女比 (教育委員会事務局を除く)	33	32	34
	市区町村の管理職の男女比 (教育委員会事務局を除く)	47	47	47
	都道府県庁の大卒程度採用の男女比	8	23	6
	都道府県庁の育休取得率の男女比	43	38	46
	都道府県の防災会議の男女比	32	38	43
教育 (20位)	市区町村の防災会議の男女比	39	24	24
	小学校の校長の男女比	38	36	36
経済 (29位)	四年制大学進学率の男女比	15	17	16
	就業率の男女比 (2024年から加わった指標)	-	-	33
政治 (30位)	フルタイムの仕事に従事する 男女間の賃金格差	29	14	19
	都道府県議会の男女比	28	27	40
	市区町村議会の男女比	35	25	19

4分野30指標のうち、特に苦戦が続くのは、行政分野の「市区町村の管理職・課長相当職以上、教育委員会事務局除く」に占める女性の割合。今回は9.5%（1132人中108人）と前年より0.3ポイント上昇したが、3年連続で全国唯一の1桁となり、最下位を脱せなかった。1位の鳥取は27.2%、6位の徳島は23.9%など、15府県で2割を超えている。

愛媛は「都道府県の管理職（課長相当職以上、教育委員会事務局除く）」の女性比率も、34位（10.6%）と苦戦している。指数を試算した「地域からジェンダー平等研究会」の三浦まり上智大教授は「一つの分野の改善は他の分野にも影響を与える」と指摘。愛媛

総務省の22年度調査によると、行政の女性管理職登用に関して人事担当や職員が挙げる課題では「自ら管理職を希望する女性が少な

い」ことが最も多い。ただ、県男女共同参画会議会長の桐木陽子・松山東雲短期大教授は若い世代は男女ともに管理職に魅力を感じなくなっているとし「本人の問題にするのではなく、家庭や時間を犠牲にして働く従来の管理職のイメージを変え、多様な働き方を示さないと、この先の社会課題に向き合っていく」と変化を促す。

「女性活躍を企業に求めるだけでなく、行政も一事業所としての責務を果たすためにリーダーが改革の必要性を理解し、風土づくりを進める必要がある」

各地の自治体は、取り組みを加速させている。徳島市は女性市長の就任をきっかけに、係長以上の女性職員を対象に、キャリアに対する意識をさらに醸成するための研修を始めた。人事担当者は「近年、女性の採用が増え、管理職が男性だけに偏ると立ち行かなくなる」と危機感を吐露する。男性中心だった危機管理部

門やケースワーカーの業務にも女性を配置するなど職域拡大を図り「先を見据えてロールモデルを増やしていきたい」と話す。

女性管理職の積極登用を進める神戸市は、4年ほど前まで20人前後だった課長級以上の女性の昇進を、22年は55人、23年は56人と大幅に増やした。ヒアリングでは昇進に伴う新しい仕事への不安が多く聞かれたため、負担を減らそうと、21年度からは同じ部署で係長から課長に昇進する仕組みをつくり、部下のマネジメントにより力を注げる環境を目指したという。

神奈川県小田原市は21年に庁内で推進チームを立ち上げ、民間プロデューサーの意見を取り入れながら職員が前向きに働ける持続的な組織づくりに向けて「女性の昇進希望率80%以上」を掲げる。職員への聞き取りから「予算実務」や「議会対応」などが、キャリアアップをためらう理由になっていることも見えてきた。

経験者が本音で語る研修には、男性も参加する。同市の担当者は「女性の動きやすさを向上させる動きが、男性へのサポートにもつながった。一人一人が成長したいと思えるサポートを（女性活躍に向けた）過渡期の今こそ大切にしたい」と語った。

市区町村	女性比率	人数
四国中央市	13.4%	9
新居浜市	11.5%	10
今治市	4.3%	4
島田市	0.9%	1
松山市	5.0%	1
東温市	10.4%	25
高松市	15.2%	5
丸亀市	13.3%	4
坂井市	9.1%	2
北条市	6.3%	1
高松市	8.7%	2
丸亀市	5.9%	4
宇多野町	11.5%	3
宇野町	10.8%	4
宇治野町	6.3%	1
宇治野町	14.7%	10
宇治野町	11.3%	12
宇治野町	6.3%	1
宇治野町	8.3%	1
宇治野町	17.8%	8

（内閣府男女共同参画局調べ・2023年4月1日時点）